

## 「マイナビ 2023年卒大学生 活動実態調査(6月15日)」を発表

2023年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は前年比5.0pt増の74.1%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023年卒業予定の全国の大学生・大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2023年卒大学生 活動実態調査(6月15日)」の結果を発表しました。（調査期間：2022年6月10日～6月15日）

### 《TOPICS》

- ◆ 2023年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は前年比5.0pt増の74.1%【図1、2】
- ◆ 内々定保有者のうち入社予定先を決めた学生は68.5%。入社を決めた理由は「社風が自分に合っていると感じた」や「社員の雰囲気や人柄が自分に合っている」が増加【図3、4】
- ◆ 内々定保有者が最も内々定につながったと思う活動は、「自己分析」と「面接対策」が上位【図5、6】
- ◆ 未内々定者の活動状況は、「第一志望群の企業の面接中」が最多。「就職活動を開始したばかり」、「選考を受ける企業を選定している」という学生も【図7】

### 【調査概要】

2023年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は74.1%（前年比5.0pt増）、平均内々定保有社数は2.3社（前年比0.2社増）であった。企業の採用意欲の高まりを受け、内々定率・平均内々定保有社数ともに前年比増となった。【図1、2】

内々定を得る学生が増えたこともあり、現時点で入社先企業を決定している学生は68.5%で、前年比4.4pt増となった。入社先を決定した理由は「説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから」が52.2%で最多となった。また「企業の社風が自分に合っていると感じたから」が前年比3.9pt増の35.6%、「企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」が前年比2.4pt増の39.1%で、他の項目に比べ増加幅が大きかった。学生が企業を選ぶ際に「社風や働く社員の雰囲気が良い」ことが重視されており※、社風や社員の人柄に関する情報提供・コミュニケーションが企業と学生との間で円滑に行われたことで、学生が入社先を決定するに至ったと推測できる。【図3、4】

※参考：2023年卒大学生活動実態調査（3月1日）

内々定保有者に、自身が注力した結果、内々定につながったと思う活動を回答してもらったところ、「自己分析」が36.3%で最も多く、次いで「面接対策」が24.4%だった。自己分析を選んだ理由では、「自分がどうしたいか、分からないなりに進む方向を示してくれたのは自己分析だった」、面接対策を選んだ理由では「WEB上でも対面でも自分を一番アピールできる場が面接である」などが挙げられた。【図5、6】

未内々定者の現在の活動状況で最も多かったのは「第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定」で28.7%（前年比0.4pt増）だった。一方で、「選考を受ける企業を選定している」が14.1%（前年比1.4pt増）、「就職活動を開始したばかりである」が11.9%（前年比3.9pt増）など、活動序盤でありこれから選考に進む学生も一定数いることがわかる。【図7】

【調査担当者コメント】

2023年度卒業予定者の内々定率は74.1%で、入社先を決めている学生も68.5%に上りました。内々定保有者に、自身の内々定につながったと思う活動を聞いたところ、「自己分析」と「面接対策」という回答が多く挙がりました。自己分析や面接対策など基本を着実にやるのが、より良い就職活動をする上で欠かせないことだと言えます。一方で、これから内々定獲得を目指す学生も多く、企業の選考を受けている段階や、中には活動開始直後であるという学生もいます。これから就職活動を進める学生にも、基本を重視し、焦らずに活動してほしいと思います。

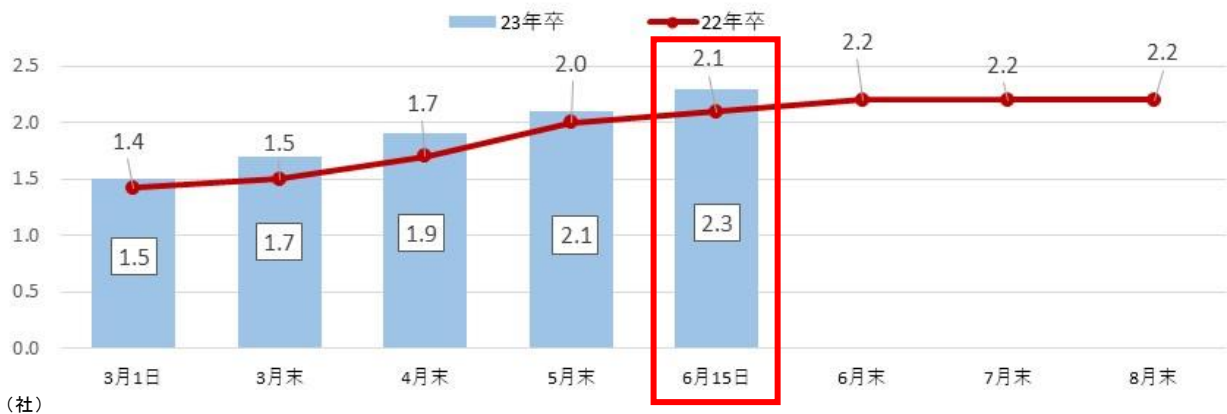
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

【図1】内々定保有率の推移

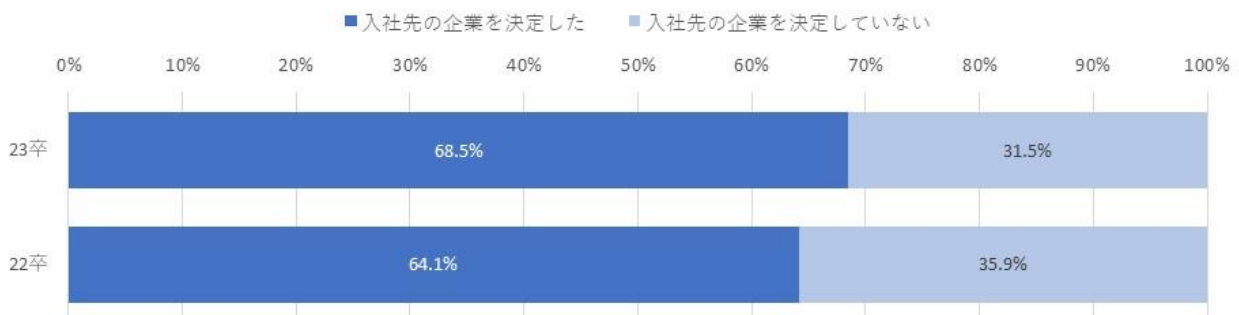


※3月1日時点の調査は2021年卒調査で初めて実施

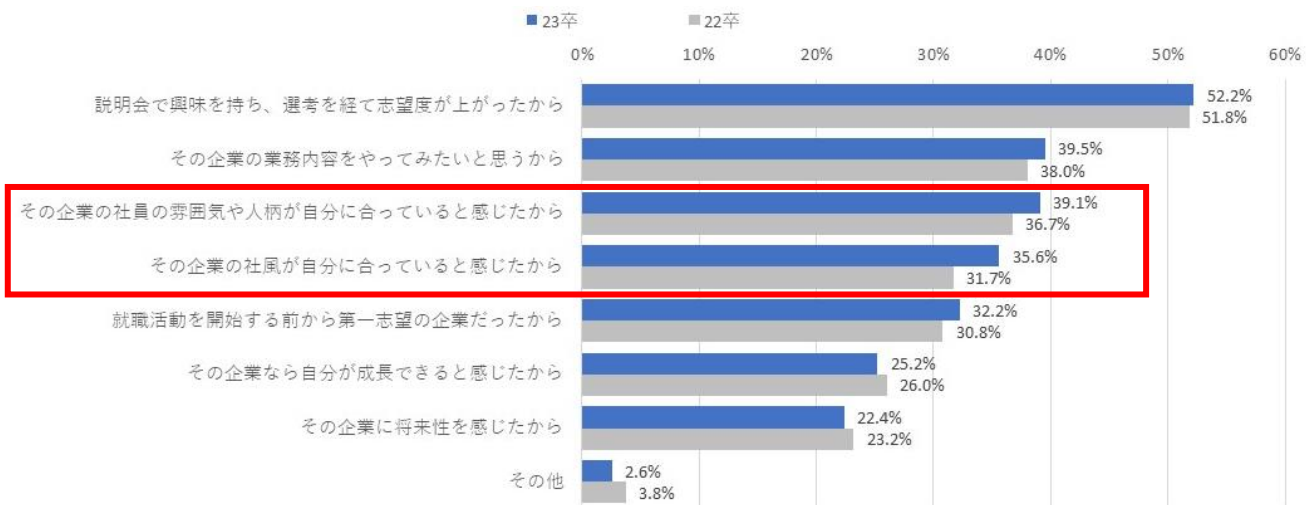
【図2】平均内々定保有社数



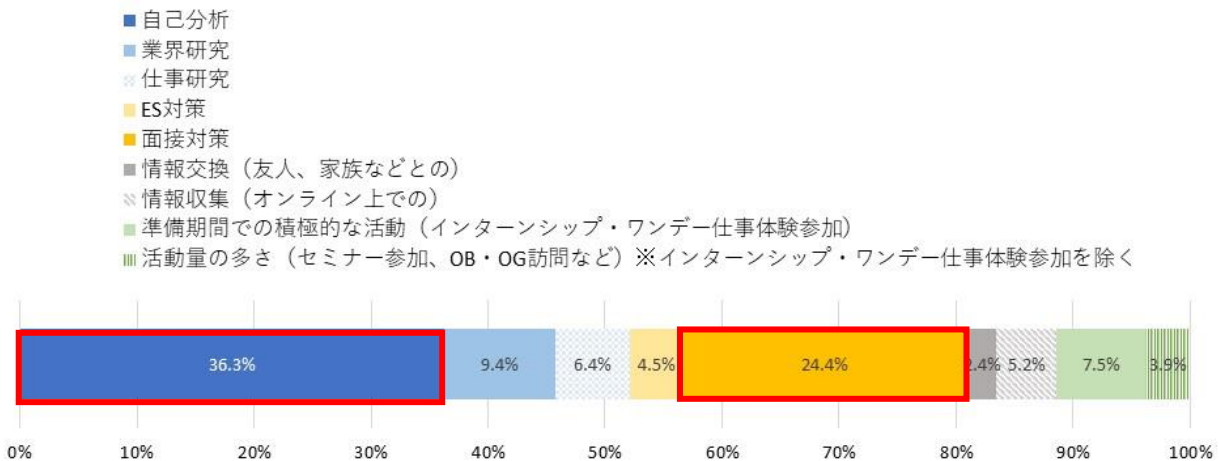
【図3】(内々定保有学生限定) 入社先の企業を決めたかどうか



【図 4】 <内々定保有かつ入社先を決定した学生限定>入社先の企業を決めた理由



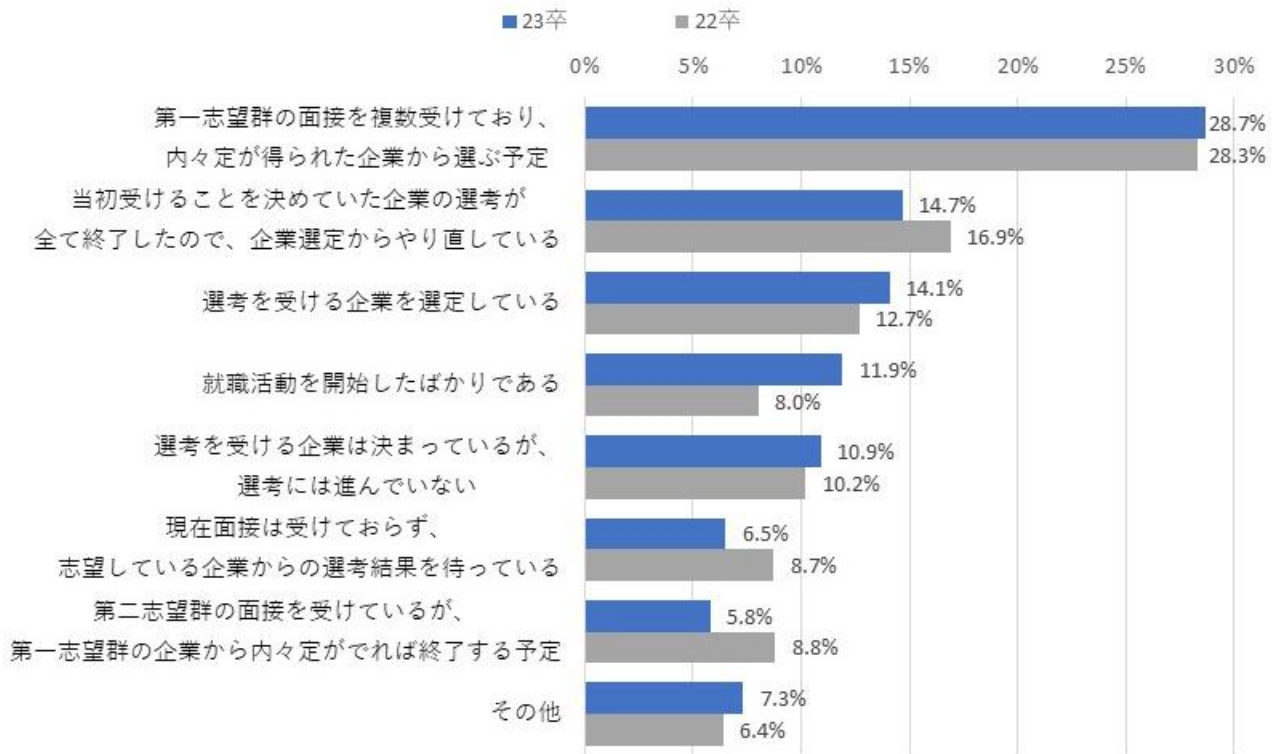
【図 5】 <内々定保有の学生限定>自身が注力した結果として内々定につながったと思う活動



【図 6】 <内々定保有の学生限定>自身が注力した結果として内々定につながったと思う活動を選んだ理由 (自由回答)

回答者	選んだ項目	回答
理系女子	自己分析	自己分析がしっかりできているかどうかでESや面接が上手くいくかが決まると思うから。選考のすべての段階においての土台になると感じた。
文系男子	自己分析	面接ではこれまでに学んだことや資格などの学業面についても尋ねられたが、一方で内面についての質問が多かった。そのため自己分析を重ねることで自分が何に喜びややりがいを感じ、反対に苦手なことについて話せるように準備していたことが内々定へとつながったのではないかと考えているため。
理系女子	自己分析	1番時間がかかったが、しっかりと自己分析をすることにより自分が本当にしたいことはなにか、得意なこととはなにか苦手なこととはなにかがわかった。それによって自然に面接でも何を聞かれてもすんなりと答えることができた。
文系女子	自己分析	私は将来何をやりたいか明確にあったタイプではなく、SNSなどに溢れている就活の情報には共感ができなかったが、自分がどうしたいか、分からないなりに進む方向を示してくれたのは自己分析だったと思うから
理系男子	面接対策	私はアルバイトをしたことがなく面接自体が就職で初めての経験でした。うまく話せず、最終面接までは行くが、内定はいただけないことが何度もあり、面接の振り返りは念入りに行いました。特にプレゼンテーションがあるため、何度も何度も練習して、その努力が正直に伝わった結果、内定をいただけたと考えています。
理系女子	面接対策	WEB上でも対面でも自分を一番アピールできる場が面接であると考えたから。実際にかしこまった内容のエントリーシートよりも自分らしさをうまく話せたことで内々定に繋がったと感じている。
文系女子	面接対策	自己分析、業界研究はもちろん行すが、それをどう企業側に伝えられるかが最終的には大切だと感じたから。

【図 7】（未内々定の学生限定）就職活動の進行状況



【調査概要】「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査（6 月 15 日）」

- 調査期間／2022 年 6 月 10 日（金）～6 月 15 日（水）
- 調査方法／マイナビ 2023 の会員に対する WEB アンケート
- 調査対象／2023 年 3 月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 有効回答数／6,281 名（文系男子 1,268 名 文系女子 2,680 名 理系男子 1,193 名 理系女子 1,140 名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が 100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社マイナビ  
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川  
Email : [myrm@mynavi.jp](mailto:myrm@mynavi.jp)

【当社に関するお問い合わせ先】  
株式会社マイナビ  
社長室 広報部 石井  
Email : [koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)